

草津市議会議員
土肥こうすけ

活動報告2025



情熱と行動力

<https://www.doi-kousuke.net/>

土肥こうすけの基本政策

5つのミカタ

子育てのミカタ

男女ともに子育てと仕事を両立できる
環境をつくれます

教育のミカタ

安心して子どもを学校に送りだせる
環境をつくれます

健康福祉のミカタ

健康に長生きできるまちをつくれます

安全安心のミカタ

安心して安眠できる安全なまちをつくれます

産業交通のミカタ

快適で便利なまちをつくれます

もくじ

◆ 議会活動報告(一般質問 抜粋)

1. 青少年育成と地域スポーツの支援につながる制度化が実現！
2. 公共施設を活かした地域経済の活性化
3. 指定管理者制度と働く人の環境改善
4. 消防団への休団制度創設 ― 導入が実現へ！
5. 文化と健康の連携政策
6. 奨学金代理返還制度の普及促進

◆ 地域活動報告

1. 地域座談会 ～現場の声を聴き、市政へ届ける～
2. なんでも相談会 ～暮らしの課題を一緒に考える～
3. 地域奉仕・ボランティア活動 ～現場に立つからこそ見える課題～
4. 政党活動 ～対決より解決をめざして～



議会活動報告

2024年～2025年にかけての議会での主な活動と、結果を報告いたします。

これらの取り組みは、「提案して終わり」ではなく、「実現させるまで粘り強く」を信条に取り組んだ結果です。

市民の皆さんの声が、市政の仕組みを変える成果へとつながりました。

これからも、政策提案と実現の両輪で、市民の皆さんに信頼される議会活動を進めていきます。



1. 青少年育成と地域スポーツの支援

制度化が実現！

地域のスポーツ少年団で指導者を担う人材の確保・育成を目的に、指導者資格取得にかかる費用を補助する制度の創設を提案し、実現しました。

これにより、若い世代が安心して指導者として活動できる環境が整い、地域スポーツの担い手を継続的に育てる基盤ができました。

今後は、制度の周知と活用を広げ、学校・地域・行政が一体となった青少年育成の環境づくりを進めていきます。



2. 公共施設で地域経済の活性化

合宿・大会誘致 が動き出す

市立体育館やプール、野球場などの公共施設を活用し、大会や合宿を誘致して地域経済を循環させる取組を提案しました。

地域の宿泊施設や飲食業との連携を促進し、観光・経済の両面で効果をもたらす仕組みづくりを訴えた結果、施設利用促進の新たな支援メニューが検討されています。

“使われる公共施設”から“地域を動かす公共施設”へ。

今後も、地域全体で経済を回す仕組みを提案し続けます。



草津市立プール



草津グリーンスタジアム



YMITアリーナ

3. 指定管理者制度と働く人の環境改善

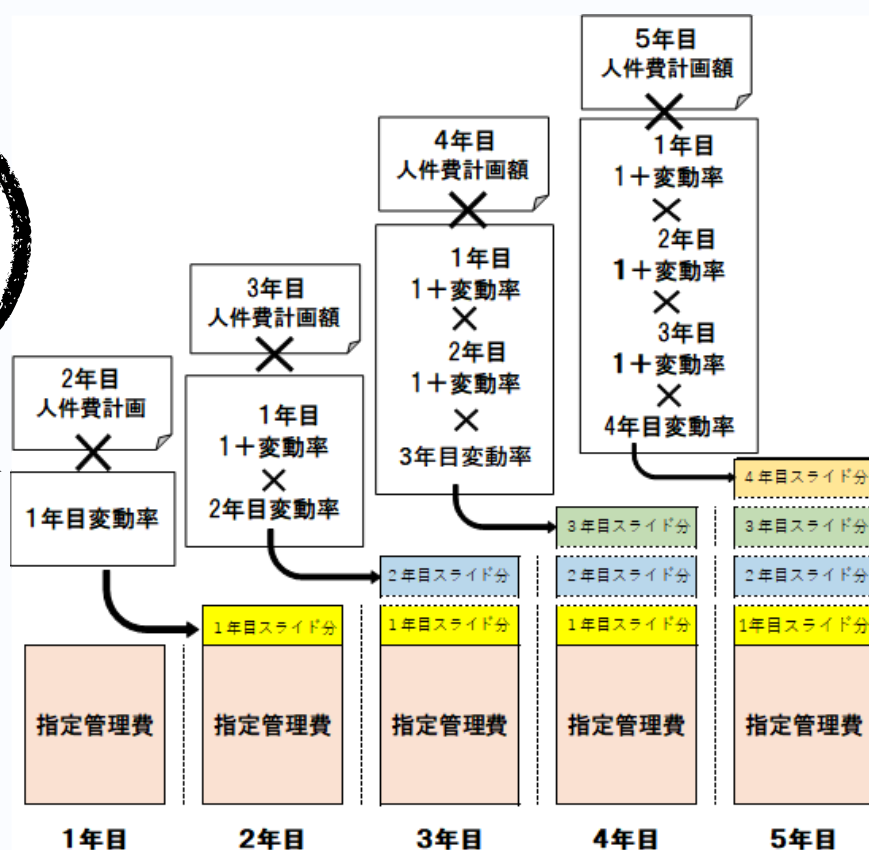
賃金スライド制度 導入が実現！

公共施設で働く指定管理者の職員の処遇改善を求め続けた結果、賃金スライド制度の導入が実現しました。

これにより、物価や人件費の上昇に応じて委託料を調整できる仕組みが整い、現場で働く人々の賃金の実態に見合う形で反映されるようになります。

これは、行政と現場が信頼関係を築きながら、「人を大切にする指定管理制度」を実現する大きな一歩です。

世の中の物価や賃金水準
の上昇に合わせて、賃上げ
に必要な原資を、市が指定
管理者に支払う



4. 消防団への休団制度創設

制度導入が実現！

育児や介護、転勤などで一時的に活動できない消防団員のための休団制度の導入を提案し、市が導入に向けて制度設計を進め、実現いたしました。

これにより、「辞めずに続けられる消防団活動」が可能となり、団員の離脱を防ぎながら地域防災力の維持・強化が期待されます。

加えて、消防団にかかる運営費の適正化にもつながり、税金の効率的運用にも寄与する制度となります。



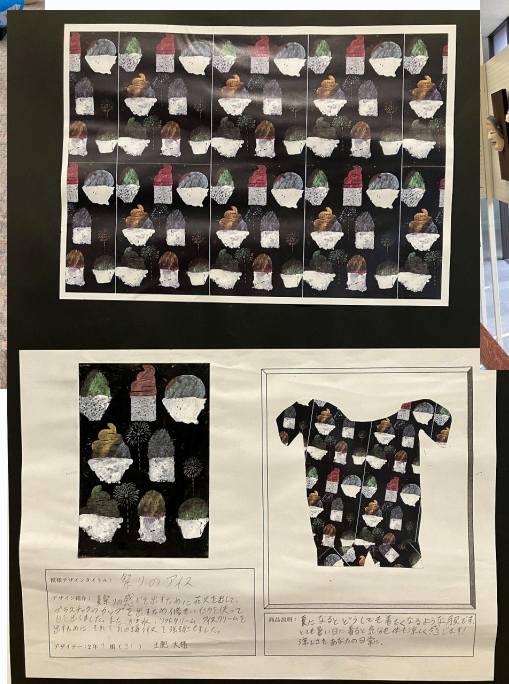
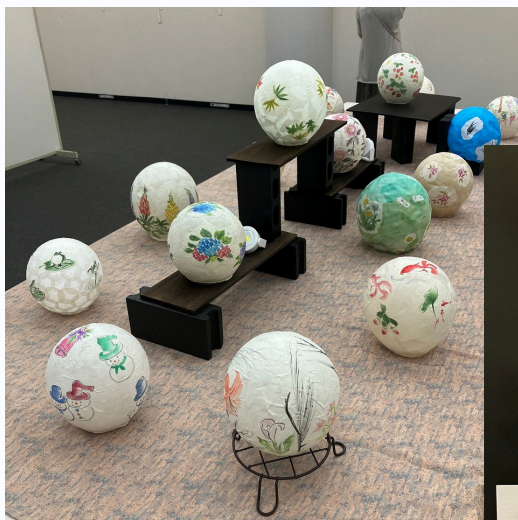
5. 文化と健康の連携政策

“文化芸術×健康”の可能性を 議会から提起

文化芸術活動が市民の心身の健康に与える効果に注目し、文化を通じた健康寿命の延伸とQOL(生活の質)向上を提案しました。

市からは「文化芸術活動への参加は社会参加や多世代交流を促し、認知症予防や生きがいづくりにつながる」との答弁がありました。

さらに、文化と福祉の両部局が連携し、芸術を活用した健康増進プログラムを共同開発する方向が示され、今後の展開に期待が高まります。



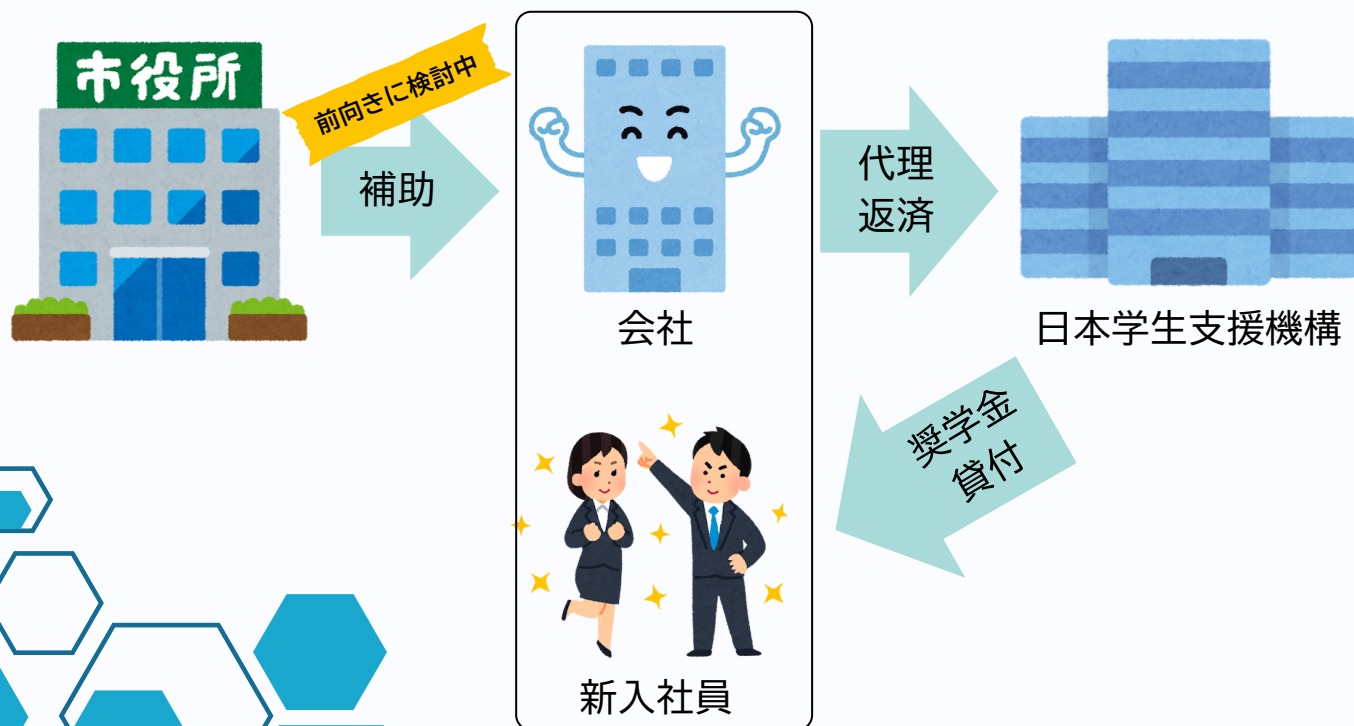
6. 奨学金代理返還制度の普及促進

補助制度創設を 前向きに検討中

若者の経済的自立支援と中小企業の人材確保を両立させるために、市内の中小企業が奨学金代理返還制度を導入しやすくするための補助制度の創設を提案しました。

この提案を受け、市は補助制度創設を前向きに検討しています。滋賀県の補助制度と連携し、市としても「若者が地元で働き続けられる環境づくり」を支援する方向です。

今後は、商工会議所や中小企業団体と協力し、実際に代理返還制度を活用する企業が増えるよう働きかけます。





地域活動報告

2024年～2025年にかけての地域での主な活動内容を報告いたします。

政策提案と実現の両輪で、市民の皆さんに信頼される議会活動を進めていくために、座談会や相談会を開催。

また、奉仕活動等を通じて市民ニーズや地域課題の把握に努めてまいりました。



1. 地域座談会

現場の声を聴き 市政へ届ける

草津市内の各学区で、地域の課題や暮らしの声を伺うための「地域座談会」を定期的に行っています。

笠縫団地集会所(笠縫小学校区)では、議会の報告に加え、地域事業の進捗共有を行いました。参加者からは、団地内の環境改善や高齢者の外出支援、団地周辺の公共交通利便性向上など、多岐にわたるご意見をいただきました。

また、西一住宅集会所(草津小学校区)での座談会では、町内の生活道路の整備や、災害時における「de愛ひろば」を避難場所として活用する手法など、現実的な提案も寄せられました。

地域の現場で交わされる一つひとつの声を丁寧に記録し、関係部署に照会・要望する形で市政に反映しています。

こうした座談会を通して見えてきたのは、「小さな困りごとが、大きなまちづくりの課題に繋がっている」ということ。これからも、地域と行政をつなぐ“対話の場”として継続してまいります。





地域からの声を大切に



2. なんでも相談会

暮らしの課題を 一緒に考える

「なんでも相談会」は、身近な困りごとから市政全般まで自由に話せる場として、各地域で実施しています。

新屋敷町内会(草津第二小学校区)で開催した相談会では、草津川跡地の整備計画やゴミ集積所のルール、防犯カメラの設置など、日常生活に直結する相談が多く寄せられました。

また、馬場町内会(志津小学校区)では、地域の人口減少と高齢化を背景に、「農地の将来活用」について活発な議論が交わされました。農業振興地域に指定されているため、開発できない現実を説明しつつ、幹線道路やICに近い立地を生かした中長期的な土地利用の可能性を行政に働きかけています。

相談会で得られるのは、単なる苦情ではなく、地域をより良くしたいという前向きな提案ばかりです。市民の皆さんが感じる“違和感”や“改善点”こそ、市政を動かす原動力です。こうした声を受け止め、課題の本質を行政に届けることを大切にしています。





【相談会の様子】
「市政報告会」や「演説会」といった、堅苦しいものではなく、気軽にご参加いただいております。
ご相談内容によっては、相談会が終わってから一緒に現地確認を行ない、一緒に改善策を考えることも。

過去にご相談いただき、解決につなげた事例(抜粋)



【JR南草津駅前】
エレベーターの出入口に段差があり、ベビーカー等の出入りがしづらい。



【山寺町の車道】
沿道に生える木の根っこがアスファルトを盛り上げて大きな段が出来ており、走行しづらい。



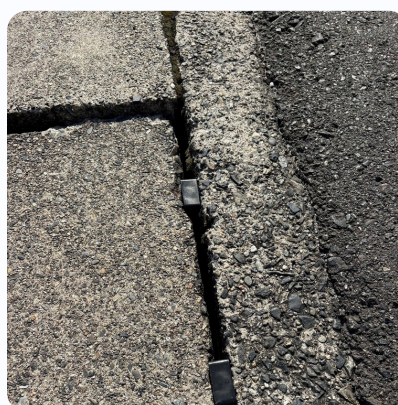
【西草津の公園】
公園内の樹木が枯れており、太い枝が折れて落下してくるので危ない。



【南笠町の雑草】
十禅寺川沿いに群生している雑草により車道が狭くなり、対向車との離合が難しい。



【大路の集積所】
ゴミ集積所の網の隙間からカラスが突いてくるため、ゴミが散乱する。



【栗東市の溝蓋】
草津市と栗東市の境目にある溝蓋がガタついているので、車が通るたびに音が鳴り、うるさい。

3. 地域奉仕・ボランティア

現場に立つから こそ見える課題

朝の駅前清掃、水路の除草・ごみ拾い、地域イベントの運営補助、消防団訓練の支援など、地域の中で汗をかく活動が続けています。

例えば、夏の水路清掃では、年々増える草木の繁茂や排水不良が問題になっており、現場を確認することで行政に改善を要望するケースもあります。

また、町内会や自治会の活動に積極的に参加することで、地域コミュニティの課題(担い手不足や高齢化など)を肌で感じる機会にもなっています。

「議会での発言力は、現場の理解から生まれる」——その信念のもと、今後も地域の最前線に立ち続けます。

地域活動は「聞く」「つなぐ」「動かす」の連続です。

これからも一つひとつの地域の声を、市政を前に進める力へと変えてまいります。





スポ少指導



水路清掃



消防団活動



宿場まつり警備



草津駅前清掃



大
更生保
保護司活動

4. 政党活動

対決より解決

国民民主党が掲げる経済政策を実現するため、昨年の衆院選や今夏に執行された参院選、10月の甲賀市議選など、各地で公認された候補者の応援をしてまいりました。

衆参いずれも大幅に議席を伸ばし、地方選挙においても公認候補・推薦候補の当選が続いています。

引き続き、党勢拡大の先にある、国民生活の豊かさを目指して積極的な活動を進めてまいります。





Since 1977

PROFILE

学歴 2001年 大阪芸術大学 芸術学部 卒業

選挙 2015年 草津市議会議員選挙 初当選
2019年 草津市議会議員選挙 2期目当選
2023年 草津市議会議員選挙 3期目当選

市議会 2018年～2019年 決算特別委員会 委員長
2021年～2023年 予算常任委員会 委員長
2023年～ 議会運営委員会 副委員長 など

政党 2020年～ 国民民主党滋賀県連 副代表

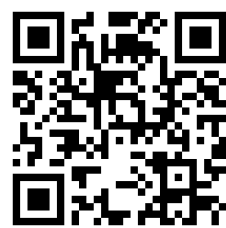
地域

- 大路まちづくり協議会 参与
- 草津市消防団第七分団 団員
- スポーツ少年団 指導員
- 日本ティーボール協会 公認指導員
- 草津市ソフトボール協会 副会長
- 保護司

公式LINE



ホームページ



発行元：土肥こうすけ後援会
発行責任者：出原逸三 編集責任者：村田寛明
連絡先：〒525-0044滋賀県草津市岡本町1000番地2
Tel:077-564-1153 fax:077-565-9840